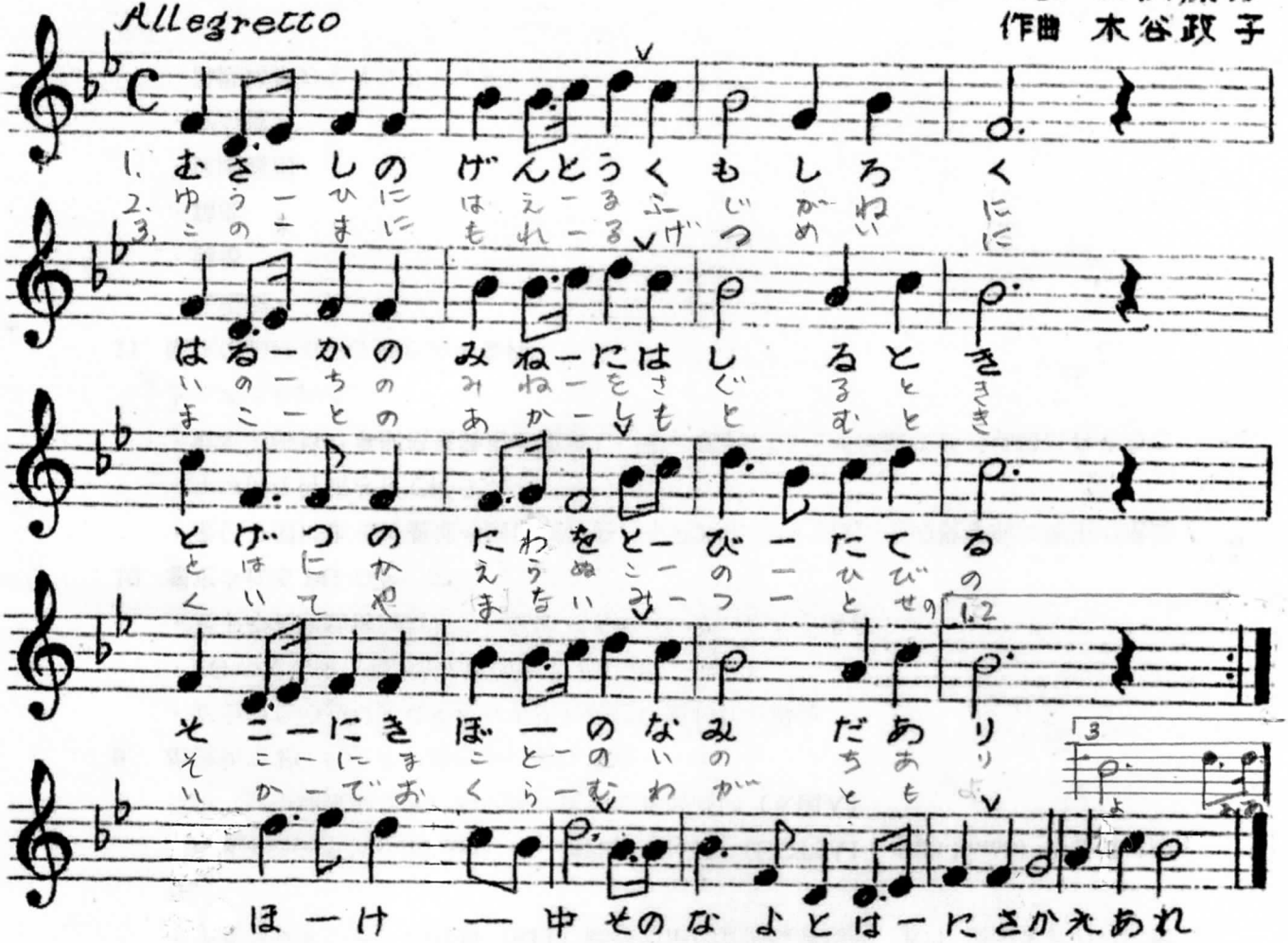
希　望

作詩　三沢康彦
作曲　木谷政子



希　望

武蔵の原頭　雲白く
はるかの峰に　走るとき
兜月の庭を　とび立てる
そこに　希望の涙あり

夕日に映える　富士が嶺に
いのちの峰を　さぐるとき
永久にかえらぬ　この日々の
そこに　まことの生命あり

木の間に洩れる　月明に
眞理の灯　もとむとき
悔いてやまない　三っ年を
いかでおくらむ　吾が友よ

あゝ　豊渓中
その名よ永久に　栄あれ

校誌「豊渓」7号　1956年度版